

今、各クラスの代表者が、1学期にがんばったことや1学期の思い出を話してくれました。そこで、校長先生も1学期の思い出を三つ話します。

一つ目は放課中に、運動場でみんなとたくさん遊べたことです。そもそも校長先生が運動場に出るようになったのは、今年の浮野小学校の目標が「体を動かそう 運動を楽しもう」になったからでした。でも、広い場所で体を動かしたり大きな声で笑ったりすると気持ちがすっきりすることがよくわかりました。それから、「みんなで楽しく遊ぶ」って、実はとても難しいことなんだなと思いました。とても思いやりが必要なんだなと思います。2学期も、熱中症に気を付けながら、放課中は運動場でいっぱい遊びましょう。

二つ目は、中津川野外学習で火起こしをしたことです。ちなみに、5年生以外の人で、火起こしをしたことがある人はいますか？テレビやゲームの世界では簡単に火がつくようなイメージがありますが、実はものすごく難しいんです。今回、5年生は運が良く、すべての班で火をつけることが

できましたが、校長先生の経験ではこんなことは初めてです。それでも、実際の火起こしは本当に大変でした。こんな小さな火種を、枯れ草の中に入れて息を吹き続けるのですが、吹いても吹いても出るのは煙ばかり。煙が目に入って涙が止まりません。泣いているうちに火種がどこかに消えてしまっただけでまた一からやり直し。そんなことを5年生のみんなとくり返すうちに、校長先生も思わず叫んでいました。「あきらめたら終わりだよ。あきらめなければ絶対できる。失敗には意味がある。失敗の数が増えれば増えるほどだんだん成功に近づいているんだよ。」そうこうしているうち、最後には見事大きな火をつけることができました。

「あきらめなければ絶対できる」このことを校長先生も改めて実感しました。

三つ目は、あいさつと公園のゴミについてです。最近、自分からあいさつをしてくれる人が増えてきました。横井公園のゴミも最近は本当に少なくなりました。とてもうれしく思います。自分からあいさつをすることも、公園にゴミを捨てないよ

うにすることも、簡単なようでなかなかできません。でも、一人一人が少しずつ勇気を出せば、その気持ちは周りにどんどん広がっていきます。夏休み中、皆さんが、家族や地域の方に自分から元気よくあいさつをすれば、あいさつの輪がどんどん広がって、周りが明るくなります。皆さんが公園にゴミを落とさないようにいつも気を付けていれば、他の人も同じように気を付けるかもしれません。そうすれば地域全体がきれいになります。

今年の夏休みは4年ぶりに浮野小で盆踊りが行われます。地域の方が、自分たちの住んでいる町を良くしようと一生懸命がんばっています。この中にも参加する人が大勢いると思います。ぜひ、あいさつの輪を広げて、ゴミを落とすことのない気持ちよいお祭りにしてほしいと思います。

夏休み、体に気を付けて、たくさんの思い出を作ってください。また2学期、元気な姿で会えることを願っています。